

佐世保・冬の大会参加記

北村 知子

1. 佐世保へ行った

1月5日

JR で行くことにしました。航空機利用も考えたけど、高そうなのでやめて前泊してもJRの方が安いだろうと判断しました。

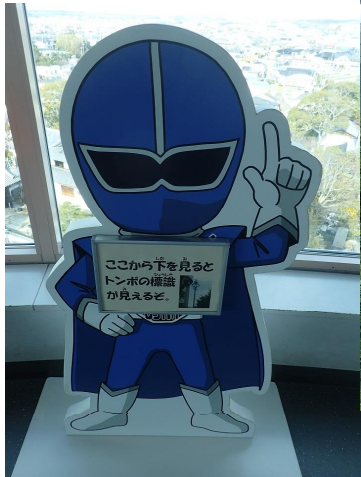
佐久→東京（北陸新幹線）

東京→新大阪（東海道新幹線）

新大阪→明石（「スーパーはくと」智頭線）

明石→博多（新幹線）

博多→佐世保（特急「みどり」）



↑トンボの像(東経135度を示す)

行きは明石に寄って、天文台で東経 135 度の場所を確かめたかったので明石に寄りました。東経 135 度の経線が通っているであろう場所にはトンボが設置してありました。天文台から見る瀬戸内海の風景が美しく、淡路島が思ったより近くてびっくりしました。明石のもう一つのお楽しみの明石焼きが食べられなくて残念でした（忙しくて、店を探している余裕がなかった）。その代わりに、明石駅で鶏天そばを食べたけど。



博多で乗り換え、順調に佐世保へ向かっていると思ったら、早岐（はいき）駅で10分以上停車したあけく、動き出したと思ったら列車が今来た道を戻り始めるではありませんか！「お～い、運転手さん、向かう方向間違ってるよ～」

しかし、周りにいる人々には動揺は見えない。

そして不思議なことに佐世保駅に着きました。「日本最西端駅」とのこと。

まずはホテルにチェックイン。その後、ホテルの人に教えてもらった長崎ちゃんぽんが食べられるお店へ。と思ったら、ホテルのフロントのお姉さんオススメのお店は、既に閉店していました。まだ19時過ぎくらいなのに。

しかたなく、駅の中を抜けて、ホテルとは反対側の『5番街』という名のショッピングモールへ行きました。よく分からないし、長崎ちゃんぽんが食べられそうなのは、長野でも見たことのある「Ringer Hut」だったので、そこで食べることにしました。麺の量が調節可能で、麺少なめ¥740、ふつう¥840。

1月6日（金）

朝、5時半に目が覚めてしまった。前日、乗り物ばかりで運動不足だったせいにちがいない。

ひまなので、その辺りを一人で歩くことにしました。

冬の大会の会場となっているアルカス佐世保へ行ったり、5番街から港へ行ってみたりしました。途中、暗かったせいか段差に足をひっかけてこけて、膝を打ってしまった。痛かった～。



結局痛くて 6km くらいしか走りませんでした。朝食後、やることもないので、歩いて 5 分くらいの冬の大会・会場へ行き、まだ印刷していなかった原稿を印刷させてもらいました。

その後は、長崎の実行委員会の人とおしゃべりしたり、全体会司会者の日吉さんのところでおしゃべりしたり。

交渉の結果、全体会の発表はヒデが 1 日目。私が 2 日目となりました。参加者が全部で 72 人なので、全員それぞれのレポートを全体会で発表できそうです。

お昼は、またまた 5 番街へ、今度は佐世保バーガーを食べに行きました。ハンバーガーショップ「ひかり」で、1 個 730 円のバーガーを仕入れ、お店の前のスペースで海を見ながら食べました。佐世保バーガーというのは、



バンズパンにハンバーグ、レタス、トマト、目玉焼き、ベーコン、チーズ、スライスしたタマネギなどがはさんであり、大口を開けないと食べられないのです。

←アルカス佐世保のすぐ近所にある由緒ある「三浦教会」

オーストラリアで言うところの hamburger with a lot ととても似ています。with a lot だとパイナップルやキュウリのピクルスもはさまっているの、それよりはフィリングが少ないなあ。なんとなくハンバーガーだけでは物足りなかったの、パン屋さんでドーナツとチーズパンを買って、全体会の会場、アルカスへ戻りました。

お昼からの二階堂さんの講演のあと、参加者の発表が始まりました。ヒデは 4 番目で杉山さんの「鉛筆ゲーム」と「秋の日はつるべおとし」の発表をしました。

興味深そうに聞いてくれる参加者がいる一方、「つるべおとし」とは暗くなるなり方の変化の割合が大きいんだというヒデ説に納得してくれない竹田美紀子さんから質問を受けていました。みんながみんなすぐ納得してしまっはつまらないでしょ。質問を受けるとはいいことだ。

ちょっと、えっというか、おっと思った発表は、東京の福嶋さんの「授業書の未来について」という授業書改訂に関する発表でした。福嶋さんはずいぶん多くの授業書の改訂に関わっているんだなあ、と驚くほどです。改訂した中には「あ～使いやすくなったなあ」というものもあれば、「ちょっと違うなあ」と思う物もあります。一番最後に言及していた藤沢千之さんの「電気をとすもの、とおさないもの」には藤沢さんから強烈な反論が出ていました。ヒデが福嶋さん、及び、会場の人に「電気をとすもの、とおさないもの」や「自由電子」の開発経緯を述べていました。藤沢さん



はそれに感謝してくれていたそうです。

←モーニング分科会 (1月7日) 飛び入りで途中から1人合流

全体発表は順調に進み、夕食を食べに行くことにしました。

夕食は、長崎の人からのオススメで、レモンステーキを食べることにしました。レモンステーキとは、お皿

が運ばれてきたらなるほど~と思ったのですが、薄切りビーフが4枚くらい焼いてあって、その上にレモンソースというソースがかかり、その上にタマネギスライスがのっていて、そのまた上にはレモンのスライスが何枚かのっているというものです。ご飯とセットで1600円もしてびっくりしました。お店の名前は「レモンドレイモンド」。

ナイターは日吉さんのところへ行きました。京都の黒田さんの『絵画入門』のプラン。とても面白かったです。ヒデがほれこんだようでした。ちなみに私はすべて正解！えっへん。

1月7日(土)

夏の大会では実行委員長を務める鹿児島島の村山さんから、モーニング分科会に誘われていたので、6:15にアルカス前集合で出かけました。辺りは真っ暗。村山さんはLED電球(自転車用だそう)を手に、神奈川の石黒さんは頭に電灯をつけ、現れたので、用意がいいなあとても感心しました。他のメンバーは鹿児島島の立岡さん、鹿児島島の木村さん。そして私の5人。今回は少ないなあ。明日は文ちゃんや長さん、せきむーを絶対誘おうと思ったのでした。10kmの行程を1000m 6分くらいのペースで走ると言っていたので、ペースについていけるかちょっと心配していましたが、私を気遣ってくれたのか、キロ6分半くらいだったのよかったです。5番街を抜け、市場を抜け、アメリカ軍の居住区(?)を回り込み、10キロちょっとのランニング。帰りに市場をのぞき、ブリ、カニなどの安さにびっくりしました。魚市場で放り投げられたらしい半端な魚の身が海に浮いていて、その肉をとらえようとカモメが何羽も飛び回りながら、魚の身につこんでいっていました。果たして1羽くらいはあの肉を捕らえられる

か、とみんなで見守っていると、とうとう大きな1羽のカモメが成功しました。

走りながら、佐世保の朝は暗いなあ、さすが日本最西端の駅があるなあ、と感慨にふけりました。7時でも、ちょっと東の空が赤みを帯びてきたという感じで、佐久の6:30くらいの感じでした。

こうしてこの朝は、10和ちょっとくらい走りました。

朝ご飯がおいしく、満足。

2日目の全体会では、私の発表。前にサークルでも紹介し、『たの授』にも掲載してもらった「本立てに立てられるボンテン分子」の紹介と「ユニバーサルなものづくり」の発表をしました。

私の担当している生徒さんに車椅子にのっているだけでなく、指先や手首が思うように動かせないT君がいて、T君に合わせた皿回し、コマ回し、けん玉練習器の実物紹介や説明を聞きながら聞いてくれた人が何人もいたのうれしかったです。

ヒデが実演してくれたのもよかったみたい。

竹田美紀子さんの「基本の原子・分子カルタ」はいかがでしょう? という発表、よかったな。美紀子さんが退職後、こども園や障害のある子ども達に授業をするようになって考案したカルタ。私のところは「生活単元学習」の時間、1年生、3年生、5年生と一緒にやっていて、今まではほとんどものづくりで通してきたけれど、(《おもりのはたらき》 《しゅぼしゅぼ》はやりました) 今度は原子分子の学習もいいな。そのときに使えるかも、と思いました。

お昼は例によって、またもや5番街。「そじ坊」という信州蕎麦のお店に入りました。異国で自分のふるさとの食べ物を発見した人のように、前日から行ってみたい、とヒデが言っていたのです。

私はお正月スペシャルそば(のような名前、本当はどんな命名か忘れました)とだし巻き卵、ヒデはざるそば定食と揚げ餅を頼みました。このお店には副菜が結構いろいろあってバリエーションが楽しめそうでした。

午後は小原さんの講演会と翌年の大会を決めたりする全体会。2024年の冬の大会を引き受けてくれるところがなく、来年は冬の大会はなしか、と皆さん思いつけていたところ、東京の福嶋さんが立候補してくれました。よかった~。できれば、長野も戸倉上山田温泉で立候補したかったところですが、いろいろと人員のことを考えると難しそうだったので…。

全体会の後は、分科会だったので、授業書改訂・デジタル分科会に出ました。改訂というよりも《ばねと力》の図をもっと分かりやすくという美

紀子さんの案、今までにデジタル化を進めてきた授業書、タブレットの使い方などでした。

私は阿部徳昭さんが紹介してくれた kahoot!というアプリがとても面白かったので、3学期が始まってから、早速理科の時間に子ども達とやってみました。速く正確に正答を選ぶ、するとクラス内のランキングが出る、というのが面白いみたいで、大好評。「今日やるべきことが早く終わって時間の余裕があるときにやるからね～」と言ったら、毎時間、意欲的に実験などに取り組み、3～5分くらいで1ゲームできるので、毎回やっています。1ゲーム終わると「同じ問題でいいからもう1回!」という要望に応えて2回やることも多く、知識の定着に役立っています。

夕飯は、まともや Ringer Hut。長崎皿うどんを食べました。かた焼き蕎麦にチャンポンの具がのっている感じの食べ物です。それと餃子。

ナイターは<アーチの力学>に出ましたが、すぐに眠くなって翌朝のモーニング分科会に備えて早くホテルに帰って寝ようと思いました。

1月8日(日)

6:15 アルカス佐世保前に集合。結局、文ちゃんやせきむーが靴がない、とのことで参加してくれなかったのが、またまた同じ5人。

5番街から港をぐるっと回り、ちょっと走るとアメリカ軍の施設にぶつかり、帰って行く、を繰り返しながら、軍港を見下ろせる山に登りました。海の上の朝焼けがとてもきれいでしたが、佐世保の港周辺をどう走っても必ずアメリカ軍の施設にぶつかるので、軍港が大きいことなどがよく分かりました。

この朝は12キロくらい走りました。

全体会では、冬の大会をやってくれた長崎の人達とこの夏、鹿児島で会をお世話してくれる鹿児島のメンバーが(つまりはモーニング分科会の人達)いろいろ発表してくれました。

今回の実行委員長・平野さんの「ウクライナとロシアと『日本』の略年図」に関する問題集 はなるほど、そういう歴史か～と分かって面白かったです。

夏の実行委員長・村山さんの「知ってはいけない1, 2」～隠された日本支配の構造～ も示唆に富んでいました。

3日目の全体会もそんなこんなで面白かったです。

そして、11時から講演会が始まる、ということになったところで、新幹線に乗り遅れては困るし、昼ご飯を食べ損ねても困るので、私とヒデは早々と会場を後にして、まずは駅に隣接するスーパーでお買い物。たこ焼きやサバの巻き寿司を購入。そして佐世保から電車に乗り、その夜、長旅か

ら懐かしの我が家へ帰ってきました。

4日間も家をあけていたので、家の中が寒くて弱りました。

2024年の年明けは東京です。長野からも近いですよ!